|  |
| --- |
| 20XX年X月XX日（X）X時限目　　クラス：X年X組　 担当：XX　　１コマ４０分『艾琳学日语』第1课-２日目学習目標：DVDを見て、日本の高校生の生活と自分の生活とを比較して、クラスメートと意見交換ができる。日本語で簡単な挨拶ができる。 |
| 时间 | 步骤 | 教学内容 | 教具、注意事項、生徒の動き |
| 3分3/40 | 目標提示 | 「今日のCan-doは日本の高校生の生活と自分の生活を見比べ、クラスメートと意見交換ができることと、日本語で簡単な挨拶ができることの２つです。」「今日は１日目と違い、文化について考える授業です。文法とか難しい話は一切しないので、楽しみながらDVDを見て勉強しましょう。」（PPT or　Can-doチェックシートを配布） | 目標の提示言語知識授業ではないことを強調。 |
| 12分15/40 | 前作業DVDを見る前に | 「みなさんは朝何時に起きますか？何時に寝ますか？朝ごはんは何を食べますか？学校に何を持っていきますか？どうやって学校へ行きますか？」（クラス全体に投げかけたり、特定の生徒に答えさせたりしながら、クラス全体を盛り上げる）「では、皆さんと同じ年代の日本の高校生たちは何時に起きるでしょうか？何時に寝るでしょうか？DVDを見る前に４人グループになって、P.8の２番をやってみましょう。予想やテレビで見たことある、知っていることでも良いです。話し合って書いてみましょう。」 | 朝が早い生徒や夜が遅い生徒の回答を拾って、「どうして？」と話を膨らませる。4人グループで日本の高校生活について話し合う。正しい答えではなく、予想で良い。 |
| 18分33/40 | DVDを見る本作業 | 「では、今から日本の高校生の生活をDVDで見てみましょう。皆さんの想像や予想、自分の生活と比べながら見てください。」（DVD第１課見てみよう「高中生的早上」を１回流す）「どうでしたか？もう一度見てみましょう。今度はP.8の２番を答えながら見ましょう。」（DVDを流す）「それでは、今からまた４人グループになって、次の１～３番のことについて話し合ってください。」①P.8の２番の答え合わせ②予想や想像と比べてどうだったか③自分の生活と比べてどうだったか「では、何人かに発表してもらいましょう。」（発表させる。） | １回目は作業せず、頭の中で比べながら見る。中国語字幕付き教師からは「違う」や「同じ」と言った表現はしないように注意。生徒自身に気づかせることが大切。 |
| 5分38/40 | 後作業 | 「最後にもう一度DVDを見て、今度は挨拶に注目してみましょう。聞き取れた挨拶をDVDを見た後に発表してもらいますから、注意してみてくださいね。」（DVDを流す）「聞き取れた挨拶をどんどん言ってみてください。」（生徒から出てきたものをひらがなとローマ字で板書）（おはよう、ありがとう、いってきます、いってらっしゃい、がDVD中に出てくる挨拶。これらの意味を確認して、コーラスする。） |  |
| 2分40/40 | まとめCan-doチェック | 「今日は日本の高校生の生活をDVDで見ました。自分の生活と比べてみて、どうでしたか？これからエリンの授業ではただ日本の文化をDVDで見るだけじゃなく、自分と比べたり、中国の文化と比べたりする時間がたくさんあります。エリンと一緒に日本の文化だけじゃなく、中国の文化も再発見できると良いですね。それでは、今日のCan-doチェックをしましょう。チェックシートの下に思ったことを書く欄があるので、そこに一言今日の授業で思ったことを書いてみてください。」 | 文化授業のCan-doチェックシートは教材の中にありません。オリジナルを作って使用してください。 |
|  |  |  |  |

※毎課２日目文化授業について…

　文化授業によって育みたい生徒の能力は新しい『課程標準』の中で、「文化意識」として、

①中国文化と他の要素と特徴を見つけ出す要素と特徴を見つけ出す要素と特徴を見つけ出す 。

②異同を比べて他文化も尊重する。

③中国文化への理解を深め自己同一性を深める。

④中国文化を 他文化の人に紹介する。

以上の点が挙げられています。まだ始まったばかりの１課では難しいかも知れませんが、教師がこの点を理解し、意識して授業をすることで生徒の文化意識を育てられるのではないでしょうか。

注意項目として、教師から「違う」「同じ」という決め付けをしないことを挙げました。生徒が自分たちで話し合い、意見交換をする中で「日本と中国の同じところ、違うところ」を発見すること、自分で気づくことが大切だと考えます。

※文化授業のCan-doチェックシートについて…

　文化授業のCan-doチェックシートでは、「意見交換ができましたか？」に対して「はい」、「いいえ」では答えにくいことがあります。そのため、Can-doチェックシートの下に空白を設け、「今日の授業で知ったこと、考えたこと、思ったことは何ですか？」と書かせ、ポートフォリオに保存することによって、後から教師が読みことで、その生徒の異文化理解に対する成長が見られます。

例：

今まではこう思っていた！

今日の授業でこんなことを、知った、考えた、思った！

こんなことをもっと知りたい！